

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 19 日作成)

小委員会名	視環境評価小委員会		主 査 名：明石行生 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)		委員長名：佐土原 聡 主 査 名：古賀靖子
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的： 視環境を知的生産に関わるシステムと捉えたとき、視環境システムの効率を定量的に評価・測定できることがその制御と改善には不可欠である。本小委員会は、視環境の安全・快適・健康を維持しながらそのエネルギー変換効率を高めるために、視環境を構成する種々の要因の効率を定量的に評価する技術の構築と実用化を支援することを目的とする。</p> <p>各年度活動計画： <ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度：WG 設置（5 WG 程度） ・ 2-3 年度：WG での活動推進。シンポジウムでの活動公表と議論。 ・ 4 年度：まとめ、論文投稿。最終成果をシンポジウム、セミナーとして発信。 </p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：明石行生 (福井大学)、幹事：秋月有紀 (富山大学) 委員：井上容子 (奈良女子大学)、岩田三千子 (摂南大学)、奥田紫乃 (同志社女子大学)、加藤未佳 (建築研究所)、北村薫子 (武庫川女子大学)、神農悠聖 (大手前大学)、佐藤隆二 (大阪工業大学)、土井正 (大阪市立大学)、中村芳樹 (東京工業大学)、原直也 (関西大学)、望月悦子 (千葉工業大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>① 明視環境設計 WG ② 複雑な輝度分布をもつ視野における対象物の見え方の定量化 WG ③ 薄明視測光技術の実環境への適用 WG</p>		
2012 年度予算	65,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	<p>シンポジウム「エネルギー有効利用時代の視環境設計」 資料名：同上</p> <p style="text-align: right;">参加者数 7 名</p>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	全ての目標を達成した。
委員会活動の問題点 ・ 課題	

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学本委員会用 自己評価欄

2013 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>明視環境設計 WG、複雑な輝度分布をもつ視野における対象物の見え方の定量化 WG、薄明視測光技術の実環境への適用 WG において、それぞれ有意義な研究成果を得た。その研究成果を学術雑誌に投稿するとともに、つぎのシンポジウムおよび OS で公表した。</p> <p>2009 年度、日本建築学会近畿支部光環境部会シンポジウム「照明により視作業性を高められるか」(2009 年 11 月 24 日)を共催した。イギリスから Peter Boyce 氏を講演者に迎え国際的な技術交流を果たした。</p> <p>2011 年度、日本建築学会大会において OS「LED 照明の現状と将来」を主催した。(2011 年 8 月 24 日)。</p> <p>2012 年度、シンポジウム「エネルギー有効利用時代の視環境設計」を主催した。(2012 年 11 月 17 日)。</p> <p>さらに、本小委員会は特に近畿圏の研究者間の技術交流を促進した。以上から、本小委員会の活動を総合的に考えて、A ランクに評価した。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。

